

学校図書館実践事例集

学校司書・図書館司書・地域ボランティア等の
利活用による学校図書館の活性化を



第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」には、「これからの学校図書館には読書活動における利活用に加え、様々な学習・指導場面での利活用を通じて、子供たちの言語能力、情報活用能力、問題解決能力、批判的吟味力等の育成を支え、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を効果的に進める基盤としての役割が期待されている」とあります。

本リーフレットでは、学校司書や公共図書館、地域ボランティア等と連携し、児童生徒の読書活動や学習活動の推進のために効果的な取組をしている事例について紹介しています。

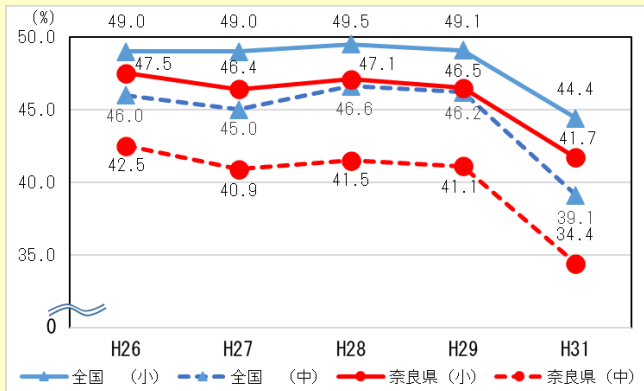
これらの事例を参考に、県内義務教育諸学校において、学校司書の配置を進めるとともに、学校司書や公共図書館、地域ボランティア等との連携による学校図書館の利活用を一層推進し、学校長・司書教諭をはじめ全ての教職員の協力により、学校図書館の充実と児童生徒の読書活動・学習活動の推進を図っていただくようお願いします。



奈良県の児童生徒の読書に関する状況及び学校図書館の状況について

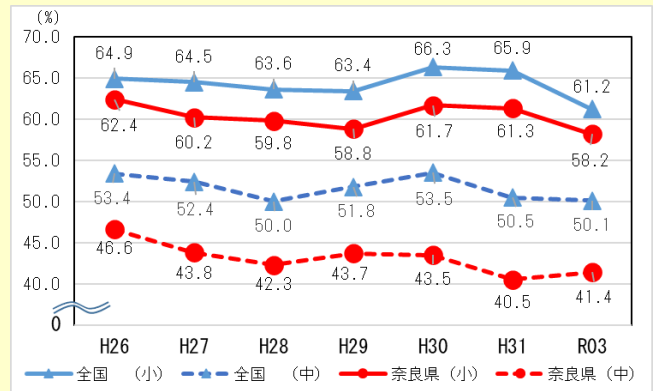
＜「全国学力・学習状況調査」の児童生徒質問紙における児童生徒の読書に関する状況＞

「読書は好きですか」という質問項目に「**当てはまる**」と回答した児童生徒の割合の経年変化



※H30、R03は質問が未設定。R2は、調査が未実施。

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という質問項目に「**10分以上読書をする**」と回答した児童生徒の割合の経年変化



※R2は、調査が未実施。

- 「読書は好きですか」という質問項目に肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国と比較して低い傾向にある。また、経年で比較すると、小学校、中学校ともに下降傾向にある。
- 「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という質問項目に「1日当たり10分以上読書をする」と回答した児童生徒の割合は、全国と比較して低い傾向にある。また、学校の授業時間以外に読書を「全くしない」と回答する児童生徒の割合は、全国と比較して高い傾向にある。

＜令和2年度「学校図書館の現状に関する調査」における学校図書館の状況＞

学校図書館における人的整備及び読書活動の状況	小学校 (奈良県)	小学校 (全国)	中学校 (奈良県)	中学校 (全国)
学校司書を配置している学校の割合	25.1%	69.1%	30.6%	65.9%
公共図書館と連携している学校の割合	85.8%	86.0%	64.9%	65.4%
ボランティアと連携している学校の割合	80.5%	78.7%	38.1%	27.9%

- 学校司書を配置していると回答した小・中学校の割合は、全国と比較して低い傾向にある。
- ボランティアと連携していると回答した小・中学校の割合は、全国と比較して高い傾向にある。
- 公共図書館と連携していると回答した小・中学校の割合は、年々増加傾向にある。

児童生徒の読書活動を推進するために、学校司書の配置を一層進めるとともに、学校図書館の役割を再確認し、学校司書・公共図書館・地域ボランティアとの連携を進め、学校図書館の活性化を図る。

< 学校図書館の機能 >

読書センター

読書活動や読書指導の場。

学習センター

学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする。

情報センター

情報ニーズに対応したり、情報の収集・選択・活用能力を育成したりする。

学校図書館がもつ3つのセンターとしての機能を充実させ、児童生徒が落ち着いて読書ができる環境と、知的好奇心を引き出し、主体的・対話的で深い学びにつなげる環境が整った学校図書館にしていく必要がある。

司書教諭が中心となり、全ての教職員、学校司書、公共図書館、地域ボランティア等が連携・協力して、学校図書館の活性化を進めていく。

児童生徒が進んで本を手に取り、読書を行える環境をつくる

- おすすめ本コーナーの設置（季節に合った本、話題の本、学年に合った本等）
- ポップや帯、リーフレットなどでの本の紹介 など

児童生徒が様々な分野の図書に触れ、読書の幅を広げる機会を増やす

- ブックトーク
- 読み聞かせ
- アニメーション
- 書評合戦（ビブリオバトル） など

友達同士でおすすめの本を紹介し合う活動なども積極的に行っていきましょう。

地域ボランティアを活用した、読み聞かせ会や学校図書館の環境整備なども進めましょう。



児童生徒が授業で学校図書館を活用できる環境をつくる

- 全ての教科等の授業において、課題解決学習、調べ学習、個別学習、グループ学習などの場として活用できるようにする。
- 探究的な学習活動を行い、児童生徒の情報活用能力を育む。



- (例) 国語科・・・本の帯作り
おすすめの本を紹介するリーフレット作り 等
- 社会科・・・県内の特色ある地域や、外国の人々の生活の様子などの調べ学習 等

学校司書や公共図書館と連携し、調べ学習用の本や資料を揃えてもらったり、学習に関連したブックトークを行ってもらったりするなど、授業でも学校図書館を活用しましょう。

生駒市立桜ヶ丘小学校

取組内容・特色等

◆主な取組

- ①校区の幼稚園・保育園の図書室体験（学校司書）
- ②「新1年生体験入学及び保護者説明会」での次年度入学予定園児への読み聞かせ（学校司書）と保護者への本の貸出（公共図書館との連携）
- ③4年生全クラスでビブリオバトル（学校司書・図書館出前授業）
- ④図書給食（学校司書・給食センターとの連携）

◆取組による学校図書館の活性化

- ①校区内の次年度入学予定園児に学校図書館を開放することで、学校図書館を通して幼保と小学校のつながりの一つとする。
- ②子どもの体験入学と同時に保護者へは本の貸出を行う。今年度の生駒市の「子ども読書会議」のテーマとなった『うちどく』を目標に、保護者にも本に親しんでもらうために、出張公共図書館という形で子育ての本や1年生向けの絵本などを準備した。



- ③「生駒市長杯ビブリオバトル市内中学生大会」が毎年行われている。本校でも学校司書と公共図書館の司書がビブリオバトルを行った。その後、紹介された学校・公共図書館の本を学級文庫に配置し、読書へと導いた。

- ④子どもたちがおいしく楽しく給食を食べられるようにという「食育」と、学校図書館を活用した「読書活動の推進」



を結び付けた図書給食を行っている。本に出てくる料理を給食で食べることができ、学校図書館に設置した図書給食のコーナーでその本を読むことができる。

◆取組による効果

- ①入学前から図書室体験をすることで、子どもたちは学校に慣れることができる。保護者は安心できる。
- ②体験入学の機会に、保護者にも学校図書館・公共図書館に親しんでもらえる。
- ③ビブリオバトル体験などが、中学校での読書活動につながる取組となった。

課題・今後の方向性

- ・幼保・小・中学校という発達の段階に合わせて、本との出会い、読書、学習、情報活用などの場面で、本を通して子どもたちの成長をサポートしていきたい。同時に、学校図書館を開放することで、幼保と小学校のつながりを深めるための一助を担ってきたい。
- ・幼保・小・中学校の中で最も長い小学校の6年間で、本を読む楽しさや、本を利用した調べ学習の楽しさを知って、中学校での学校図書館の利用につなげることを目指す。

児童の読書活動の推進に活躍！

葛城市立當麻小学校

取組内容・特色等

◆学校司書との連携

- ・全学級に図書を50冊ずつ配置し、朝読書に活用している。
- ・読書通帳と表彰による読書推進をしている。読書通帳の裏に、おすすめの本50冊を掲載している。
- ・しおり作り、ブックラリー、クイズラリー、読書の木などのイベントを実施している。
- ・図書委員と協力し、タブレット端末によるポップ制作を行っている。
- ・葛城市をはじめ、宇宙、本に関する記事をスクラップするとともに、毎日の新聞を学校図書館に配置し、いつでも新聞を読める環境づくりをしている。
- ・国語科の授業で児童が作成した本の紹介を、図書と一緒に展示している。



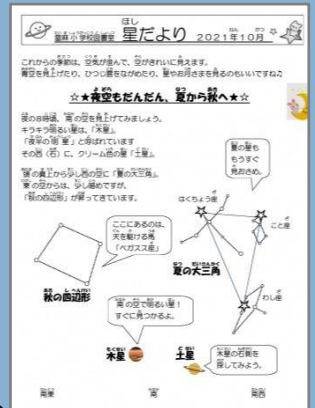
◆公共図書館との連携

- ・令和3年度から児童のタブレット端末に市立図書館の電子図書につながるアイコンを作成した。電子図書の貸し出しを始め、タブレット端末で読書ができるようになった。
- ・学校図書館にない本が読め、コロナ禍にも対応している。特に高学年に人気で、朝の読書時間に電子図書を読む児童も多い。



◆PTA・学校司書との連携

- ・平成28年度にPTAの協力により、学校図書館に設置されたプラネタリウムが復活！これを機に投影を再開し、読書活動にも一役かっている。学校司書が作成する図書だよりは、裏面に「星だより」を掲載している。星を身近に感じ、空や自然図鑑や理科の本に興味をもつ児童が増えつつある。



◆地域ボランティアとの連携

- ・市内のボランティア団体「たいまお話の会わらべ」がお話配達を実施。昭和62年から続いており、楽しみにしている児童も多い。



課題・今後の方向性

- ・身近に本がある環境を整えることで、本に興味をもつ児童も増えてきており、貸出冊数は増加の傾向にある。しかし、絵本が好きな児童が多いため、そこから児童文学への移行がスムーズに運ばないことがある。今後も様々な活動や取組、公共図書館や地域ボランティア等との連携を進めていく必要がある。
- ・プラネタリウムの投影や「星だより」などをきっかけとして、星を身近に感じ、空や自然、図鑑、理科に関する本へと児童の興味をさらに深めていきたい。

「読書活動」「読書意欲向上」の支援に活躍！

宇陀市立菟田野小学校

取組内容・特色等

主な取組

- ・市立図書館司書が委員会活動時に来校
- ・地域ボランティアによる絵本の読み聞かせ
- ・おすすめの本紹介カードの交流
- ・学校図書館と学級文庫の展示の工夫 など



図書委員による図書宅急便のための選書

図書館司書が月1回の委員会時に来校

- ・学校図書館レイアウトのアドバイス
- ・図書室宅急便の選書支援
- ・「司書おすすめの本」コーナー設置
- ・ポップの書き方、コツの紹介
- ・本の修理 など

図書館宅急便

- ・月1回各学級に10冊程度の本を配達
- ・図書委員が本の紹介
- ・学級文庫に配置

教員とは違った視点での専門家ならではの司書のアドバイスが、図書委員には新鮮でよい影響を与えた。



面展台等を使った学級文庫の配置

学校図書館の工夫

- ・面展台の活用
- ・〇〇コーナーの設置
季節の本、シリーズもの、教科書に載っている本
- ・おすすめの本カードの掲示



展示の工夫などがされた学校図書館

絵本の読み聞かせ

- ・地域ボランティア「お話玉手箱」によるお話祭り
- ・教員によるお話フェスティバル

学級での工夫

- ・朝昼の読書タイム
- ・週1回のクラス貸し出し
- ・おすすめの本カードの掲示・交流
- ・面展台等を使った学級文庫の配置



面展台等を使った学級文庫の配置

児童の知っている近所の方が読んでくれることで、親しみをもって集中して聞いていた。

課題・今後の方向性

- ・図書館司書の来校回数と授業時の在室が増えれば、児童との関わりも増え、読書活動の活性化につながる。また、市内他校との情報交換も活発になり、より充実した学校図書館になると考える。
- ・今後も、学校図書館の配架の工夫や図書館の利用啓発ポスターの作成、本の紹介などの活動を積極的に行い、親しみやすい学校図書館の環境づくりを目指す。

生徒が読みたいと思える本に出合える読書活動支援

葛城市立白鳳中学校

取組内容・特色等

◆主な取組

- ・生徒の意見を積極的に取り入れた図書の充実
- ・新着図書の効果的な紹介
- ・葛城市立図書館が提供する電子図書の活用

◆生徒にとって魅力的な学校図書館の環境づくり

学校司書が生徒に対し随時アンケートを取り、生徒に人気のある本をジャンル別に集め配置することで、読みたいと思う本がすぐに見つかるようにしている。

また、映画やドラマで放映されている作品に関係する本をおすすめとして目立つところに提示し、これまで読書にあまり興味のなかった生徒に対して、読書を身近に感じてもらえるようにしている。



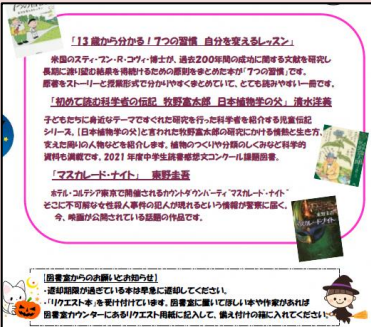
映画やドラマに関係のある図書コーナー



生徒が作成した新刊紹介ポスター

◆ポスター作成や図書だよりの発行を通じた情報発信

新刊の図書を学校司書がとりまとめ、図書委員会に所属している生徒が新着図書として紹介を行っている。また、ポスターを作成し、学校図書館内や廊下の掲示板に貼り出し、学校図書館を利用しない生徒にも見てもらえるように工夫をしている。生徒全体への情報発信として図書だよりを月次で発行している。よく貸し出される人気の図書の掲載や、学校司書が選んだ中学生向けのおすすめ図書の紹介を行っている。この図書だよりは全校生徒に配布している。



図書だよりのおすすめ図書紹介

◆タブレットを使った電子図書での読書活動

葛城市立図書館が提供する電子図書を、生徒が使用するタブレット端末で利用するためのガイダンスを実施した。生徒のIDとパスワードの初期設定や電子図書にアクセスするための方法などをICT支援員の協力のもと整備を進め、生徒が自分で電子図書を開き自由に読書ができるようにした。



朝読書で電子図書を開く生徒

◆充実した図書の環境整備による効果

学校図書館が生徒にとって興味深いものとなるように図書の充実を図った。また、電子図書という手軽に読書ができるツールを通して、これまであまり読書に親しみをもっていなかった生徒に対し「読書への興味の入り口」をつくることに貢献することができた。

課題・今後の方向性

今後は電子図書の普及に伴い、学校図書館に所蔵されている図書の利用率が低下することが想定される。電子図書という新しい情報媒体の登場に際し、学校図書館で扱う図書について再考が必要である。紙の図書だからこそ表現できることも多いので、そのような図書を優先して学校図書館に取り入れることを考えていきたい。

各教科等の授業における学校図書館活用例

国語科（小学校第1学年）

○目標

- ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って、簡単な構成を考えることができる。
- ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

○活動例

- ・おすすめの乗り物についてカードにまとめ、「おすすめのりものずかん」をつくる。

☆学校図書館等活用のポイント

- ・乗り物に関する図鑑や本の収集。（公共図書館との連携、学校司書・司書教諭の活用）
- ・ブックトークを行うことで、図鑑や本への興味・関心を高めたり学習課題をつかませたりする。（学校司書・司書教諭・図書館司書・地域ボランティアの活用）

社会科（小学校第4学年）

○目標

- ・県内の特色ある地域の様子について、資料で調べ、理解したことやそれらの特色について考えたことをリーフレットにまとめることができる。

○活動例

- ・集めた資料から必要な情報を選び、奈良県の特色ある地域の様子についてリーフレットにまとめる。

☆学校図書館活用のポイント

- ・奈良県の市町村の特色について書かれた資料の収集。（公共図書館との連携、学校司書・司書教諭・図書館司書・地域ボランティアの活用）

美術科（中学校第3学年）

○目標

- ・調べ学習を通して、作品に対する友達の意見を聞いたり、考えたことをレポートにまとめたりして、見方や感じ方を深めることができる。

○活動例

- ・資料を活用し、選んだ作品の魅力についてまとめ、発表する。

☆学校図書館活用のポイント

- ・様々な絵画作品の写真や、その作品や作家に関する資料の収集。（公共図書館との連携、学校司書・司書教諭・図書館司書・地域ボランティアの活用）

子ども読書活動に関するリンク

「子ども読書の情報館」 <https://www.kodomodokusyo.go.jp/>
子どもにぴったりの本を探すためのコーナーや読書活動へのアドバイス、優れた読書活動の事例などが掲載されています。

「子供の読書キャンペーン」 https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00480.html

著名人のおすすめの本や読書関係団体の取り組み等が紹介されています。

